

令和7年度 館林市立第三中学校 学校経営方針

校長 橋本 文明



石垣のような組織

様々な個性・適材適所・大きい石も小さい石も関係なく支え合う

令和7年度 学校経営方針



I 学校教育目標

- 広く豊かな心をもつ ○自ら学ぶ ○心身を鍛える

II 4つのキーワード

- 笑顔(あいさつ、余裕、優しさ、よろこび、よろこばせる、いじめなし)
○前向き(前に進む、ピンチこそチャンス、やってみよう、ポジティブ思考、いじめなし)
○感謝(思いやり、助け合い、協働、自分は生かされている、いじめなし)
○尊重(様々な事情、自分も他者も大切、年齢・性別・経験問わず、温故知新、いじめなし)

III 目指す教育像☆

- 一人一人を大切にする教育 生徒×職員×保護者×地域×関係機関=∞

IV 目指す生徒像☆

- 主体性を持ち、自他を大切にする生徒
○正しい知識と判断力を身に付けた生徒
○夢や目標に向かって何度でもチャレンジし続ける生徒

V 目指す学校像☆

- 生徒にとって自己存在感や達成感を感じられるあたたかい学校
○安全・安心な学校
○家庭や地域から信頼される学校
○教師にとってやりがいのある学校
○生徒・先生・保護者・地域・その他の方が、三中で(が)よかったという学校

Ⅵ 目指す教師像 <キーワード>アップデート&リビルド、パーソナリティ、リスペクト

- 石垣のようなチーム
- エージェンシーを発揮する生徒を育成するための授業改善を推進する教師
- 時代の情勢を見極め、今求められていることを敏感に感じ、現場に反映できる教師
- 生徒と互いにリスペクトし合い、信頼ある人間関係づくりができる教師
- 誰にでも謙虚で誠意ある対応ができる教師
- ピンチこそチャンスだと前向きに考える教師
- 風通しのよい職員環境を互いに作り合い、年齢・経験・役職にとらわれずにリスペクトし励まし合える教師

Ⅶ 4つの方針と3つの柱

【4つの方針】

- ①学力とパーソナリティの向上
- ②互いにRespectできる関係づくり
- ③エージェンシーを発揮する個別最適な学習活動
- ④特別支援及び日本語教育の理解と推進

【3つの柱】

- ①豊かな心の育成
- ②確かな学力の定着と指導力・授業力の向上
- ③信頼される学校づくり

Ⅷ 3つの柱の具体的施策

(1) 豊かな心の育成

- 基本的生活習慣(笑顔で挨拶、返事、時間、時刻やきまりを守る等)の定着
- ほめる・認める場面を意図的につくり、生徒のよさ・違い・個性を尊重した、ストロングポイントを伸ばす、自己有用感が高まる指導の充実
- 心の居場所のある学年・学級づくり
- 生徒のパーソナリティの成長を目指し、いじめ・不登校・問題行動の未然防止や早期発見、早期対応、早期解決に向けた生徒支援体制の充実
- 生徒がエージェンシーを発揮できる学校行事や生徒会活動のリビルド
- 人権教育の充実と特別支援的教育の理解及び外国にルーツを持つ生徒・宗教・LGBTQ等の総合的な理解の推進
- 職員間の日常的な情報交換や組織的指導

(2) 確かな学力の定着と指導力・授業力の向上

- 個々の生徒を垂直に捉えた理解の充実と置いてきぼりを作らない一人一人を大切にした支援
- 特別支援的教育と日本語指導の理解と推進(誰にでも、Gentle・Easy・Kindly)
- 「はばたく群馬の指導プランⅡ」や「ラーニングピラミッド(最終ページ参照)」等を参考に、「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現・充実へ向けた、教師の関わり方やICTの効果的活用を踏まえた授業改善の推進
- 生徒がエージェンシーを発揮するための教師の役割の見直しと改善(Teacher → Facilitatorあるいは伴走者)
- Hyper Q-Uを活用し生徒理解を深め、あたたかい学級をベースにした授業づくり
- 自ら課題を見つけ、自らの学びをマネジメントする力を育成するための家庭学習の計画的(個別最適化も含む)な実施
- 運動の楽しさや喜びを味わい、基礎体力の向上と基礎技能の定着が図れ、運動量の確保ができる授業や部活動への取組
- 管理職による定期的な授業参観やショート・シンプル・クリアに短時間で振り返りを行うことでの教師の指導力と授業力向上

(3) 信頼される学校づくり

- CSを活用し、地域に開かれ地域と共に歩む体制づくり
- いじめ防止基本方針に基づく取組の充実、いじめ防止と早期発見・早期対応・再発防止

- SOSの出し方教育の推進とSOSの受け止め体制の整備
- 主体的に身を守るための安全教育の工夫と充実
- 登下校時の交通安全・不審者対応等、関係機関と連携した取組の推進
- 時代の情勢に敏感となり、最新の情報にリニューアルできるように危機管理マニュアルの随時見直しと職員自身の知識のアップデート

※危機とは

- ・あらゆる感染症 ・地震、落雷、火災、大雨等の自然災害 ・不審者 ・個人情報漏洩
- ・食物アレルギーによるアナフィラキシー、集団食中毒、熱中症、運動時の事故
- ・施設の保守管理不備、修繕の不備 ・合理的配慮による理解不足 ・保護者等による虐待
- ・教職員の不祥事、不適切な指導（体罰・生徒を威嚇するような指導） ・クレームや不当要求
- ・教育課程未履修（指導内容の未履修も含む） ・いじめ問題の発生、ネット上の誹謗中傷 等

- WebページやH&Sを積極的に活用した情報発信
- いじめ、不登校、問題行動の早期発見や初期対応、迅速な管理職への報告、職員・保護者・市教委との情報共有
- 不登校(傾向)生徒への組織による適切な支援
- 相手の立場に寄り添った学校・学年・学級経営を心がけ、きめ細かく丁寧で誠意ある迅速な対応
- 「笑顔」「前向き」「感謝」「尊重」「責任ある行動」「品格」等を兼ね備え、風通しがよい職場の構築
- 教職員の心身の健康を保てる職場環境の構築
- 校務の効率化や業務改善、勤務時間の適正化による自己研鑽の時間の確保
- 過去を大切にしながらもアップデート・リビルド・バージョンアップ・リニューアルを行っていく意識と体制
- 複数の眼で確認しながら、ミスのない正確・的確・迅速な事務処理
- 教育公務員としての自覚と誇りを持ち、法令遵守と不祥事ゼロ
- 県や市の「適正な部活動の運営に関する方針」に基づく休養日や活動時間の設定等を考慮した適正な部活動の工夫と今後の動向を踏まえた部活動の在り方の検討
- 「みんなで育てる！みんなが育つ！」OJTの推進、メンター研修の推進

